



ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN

URL <http://www.meinan-rotary.com>

E-mail info@meinan-rotary.com

WEEKLY REPORT



2008-2009 RI会長
リー・ドンカン氏(韓国)

■承認/1991年3月8日

■例会日/火曜日・PM6:30

■例会場/名古屋マリオットアソシアホテル

■事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号

名古屋マリオットアソシアホテル2202号

TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

■会長/川辺 清次

■幹事/鈴木 清詞

■会報委員長/田中 省三

第 840 回

2008年11月18日(火) 晴 第19回

～ロータリー財団月間～

齊唱	それこそロータリー
出席	会員 71 名 (出席率算入人数 62 名)
	出席 51 名 出席率 82.26%
	前々回補填率 92.06% (11月7日分)

◆会長あいさつ◆

会長 川辺 清次さん

11月14日は「世界糖尿病デー」です。ちょうど当日、栄周辺をぶらぶらしておりましたらそんなチラシをいただきました。翌日の新聞によりますと、40歳以上の3人に一人が糖尿病またはその予備軍ということです。国連が2006年に、治療に使われるインスリンを発見したフレデリック・バンティングの誕生日にちなみまして、11月14日を「糖尿病デー」といたしました。当日は、名古屋城、東京タワーなど、全国50か所がライトアップされて、世界各国でイベントが行われたということです。



50歳を過ぎますと、糖尿病か高血圧か、大体その2種類に分かれるかと思いますが、これは親からの遺伝、体質、肥満が原因です。私は高血圧の方でして、朝2錠、夜1錠、降圧剤を飲んでおります。私の父母も高血圧だったので、これは避けて通れないということです。私はメタボ気味ですが、糖尿病は今のところありません。太っているから糖尿病、やせているから糖尿病ではないということは一概には言えないようです。でも、太っているよりはやせているほうがベターかと思えます。

今晚から明日にかけて非常に寒くなると天気予報で言っておりました。最高気温が9℃とか10℃とか言われております。どうか風邪をひかないように十分気をつけて、元気で年末を乗り切っていただきたいと思えます。

◆幹事報告◆

幹事 鈴木 清詞さん

- 海外出張届
小野 雅之さん 11/13～11/20
アメリカ シカゴ ニューヨーク 商用
- イギリスのバーミンガムで、第100回記念の国際大会が6月21日から開催されます。

◆ニコボックス◆

*昨日突然川辺会長よりTelを頂いて、今日、糖尿病のことについて話をせよとの命令を頂きました。

江村 雅夫さん

*寒くなって来ました。お風邪をひかない様にご注意下さい。

林 隆二さん

*今晚から寒くなります。皆様風邪に気をつけて年末を頑張りましょう。

加藤 英敏さん	久米 伸治さん	田中 省三さん
杉山 隆秀さん	川辺 清次さん	杉本 勇さん
菊岡深智子さん	木村 猛さん	黒田 康正さん
入谷 直行さん	山本 誠一さん	柴田 照子さん
鈴木 厚司さん	江上 隆夫さん	林 正人さん
浅井 浩さん	平沼 里子さん	犬飼りさ枝さん
小澤 久隼さん	吉木 邦男さん	三浦 和人さん
東山 直史さん	伊藤 博昭さん	三浦 隆さん
木下 福郎さん	山崎 淳さん	白藤 憲雄さん
本日合計	31,000円	累計 786,000円

◆委員会報告◆

●親睦活動・家族委員会 山本 郁矢さん

忘年家族会の出欠のご返事が11月25日までとなっております。ご返事を出しておられないかた、早急にお返事をいただきたいと思えます。忘年家族会は12月19日(金)、ウェスティンナゴヤキャッスルホテルで行います。

●ローターアクト委員会 委員長 杉本 勇さん

ローターアクトからクリスマス・パーティの招待券を10枚いただいております。私と中西さんが出席いたしますので、あと8名のかたにご協力いただきたいと思えます。

◆地区大会報告◆

会長 川辺 清次さん

11月15日、16日の2日間、国際ロータリー第2760地区大会が、名古屋名東RCホストのもとに、ウェスティンナゴヤキャッスルホテルで開催されました。

15日の午前中はRIの地区指導者育成セミナーがあり、私と木下さんで行ってまいりました。パストガバナーの和歌山県・有田RCの成川守彦さんが「ロータリーとは？ロータリアンであることの意義」というテーマで、歴史やポールハリスフェローに関するお話をされました。

15日の午後から地区大会第1日目が始まり、プログ

第842回例会(12月2日)のご案内

年次クラブ総会

ラムでは、RI 会長代理として佐藤千寿さんの講演が予定されていましたが、10月23日にご逝去されたため、秋田県本荘 RC の作佐部貢さんが登場されました。

議事進行の中、大会議事審議で「2010 年度規定審議会に対する制定案の提出に関する件」というのがありまして、「クラブ定款第 10 条第 5 節、出席の記録を次のとおり改正する。」ということでありました。これは去年から出席率の算定方法が出席免除者も入れたものになったという経緯があり、今まで 100% 目指していたのが、100% をあきらめざるをえない状況になりました。そこで、「本条第 3 節 (b) または第 4 節の下に出席規定の適用を免除された会員の欠席は、本クラブの出席率の算出に使う会員数に含まれない」と変更になりました。出席免除は理事会の定款にちゃんと書いてあるわけです。「休会会員」についても、アメリカでは「休会会員」の規定はないのではないかと、ガバナーに問い合わせをして、日本事務局を経由して異議を申し立ててくれと申し上げていたところ、まずは「出席免除者の出席は算入しない」ということになりました。「休会会員」の時にはどうするのか、病気で入院しているものまで入れるのか等を、もう一度日本事務局、ガバナー事務所へ確認をして、今後の出席率算定に反映したいと思っております。

講演は、佐藤千寿さんの遺稿を千葉県松戸 RC 所属の土屋亮平さんが読むという形で進められました。演題は「他人の金で奉仕をするという虚構」です。金権ロータリーの是正、商業主義に走ったオリンピックの反省とともに、ロータリー活動が金と権力に支配されないようにということ。また、世界のロータリーの動きは日本のロータリーになじまないところがありますが、佐藤さんは「日本は日本で自分の信ずる道を行けばいい」と言われておりました。私としては大変共感する部分があり、非常に面白い講演でした。

2 日目の 16 日は報告事項が多く、各委員会報告、RI からの表彰報告、ガバナー賞等の報告で午前中は終わりました。午後から、元総理大臣・小泉純一郎氏の講演がありました。登録数は約 2,600 名でした。RI 第 2760 地区の会員数は約 5,000 人ですので、半分の方が登録されていたことになります。

小泉純一郎氏は「日本の針路」という演題で 1 時間ほど講演しました。昭和 47 年、48 年の第 1 次オイルショックの経験をもとに、日本は三つの基本方針を定めました。それは石油の備蓄、省エネ、代替エネルギーを見つけること。その後日本は、リサイクル技術、地球温暖化技術で世界一流国になりました。これからは、環境と経済が最重要課題であろう、これから景気は悪いけれども、考え方としては、ピンチはチャンスだということをお話しされました。日本の焼酎は欧米で非常に評価されていますし、青森のリンゴも、欧米では 1 個 1,000 円、2,000 円でも売れるようです。

評価の仕方として、野球を例にとつて、日本では打者は 3 割バッターだったら超一流だということになっておりますが、大リーグの評価の仕方は、3 割というよりも、分母の「打数」は同じだけれども、分子が「ヒット+四球+盗塁の数」で評価している。ヒットは打つけれども、チャンスに弱い、足が遅い、選球眼がないというのはだめだということです。ヒットを打って、選球眼もよくてフォアボールが多い、足も速い、この三拍子そろったものを評価するというわけです。ピッチャーも、日本では自責点、9 回投げて自分の責任で何点の失点になったかが評価になるのですけれども、大リーグでは評価の基準が違っておりまして、分母が四球数、分子が三振数になっているということです。自責点よりも、どれだけ

コントロールがいいか、三振をとれるかということが、大リーグのピッチャーの評価につながっているようです。評価の基準も変わるから、それに対する柔軟な姿勢が必要ではないか、変化に対応する力が要求されているのではないのかと思います。

今回の地区大会では、愛知県に愛知県芸術大学の学術資金として 100 万円、名古屋市に名古屋城本丸御殿建設資金として 100 万円寄贈しました。2 日とも、午前と午後の開場のときには県芸の学生・院生による演奏があり、大会に色を添えていました。始まりの時間帯は遅れてくる人もいるわけですが、演奏が終わるころには全員着席していました。また、コールロータリーという、ロータリアンとその家族で愛知万博のときに作った合唱団がコーラスを披露しました。

◆ 会 員 卓 話 ◆

● 江村 雅夫さん

私の糖尿病の闘病記ということですが、私は決して糖尿病と闘っておりません。友達として、仲良く付き合い合っておりますので、「闘病記」というのはちょっと違うなと思うわけです。私は現在、67 歳 11 か月です。最初に入院したのが昭和 38 年 11 月 23 日、23 歳でした。それを初めに、今まで 22 回入院しております。



糖尿病になった当初は、まじめに朝の散歩をしたり食べ物に気をつけておりました。しかし徐々にルーズになり、糖尿病がだんだんひどくなりました。脳梗塞を 3 回、心筋梗塞を 4 回やりました。最後に入院したのは、4 年前です。このときにカテーテルの中にステントという、ステンレスのネットを血管の中に入れてくれました。それで、最近健康状態がよいのではないかと錯覚するぐらい症状が出ないようにしました。

しかし昨年 5 月、網膜はく離になりました。糖尿病から、脳梗塞、心筋梗塞になったり、脱疽といって足を切ったり、腎臓が悪くなって透析などいろいろ合併症があるわけですが、網膜はく離もその 1 つです。一念発起しまして、昨年 8 月 10 日より 3 泊 4 日で、食事療法を勉強してまいりました。肉魚等の動物は一切だめ、砂糖、ハチミツ、牛乳もだめだと言われました。この非常に厳しい食事療法を 1 年 3 か月続けたところ、体重は 1 年で 13 キロ落ちました。血圧は降圧剤を飲んでいて上が 190 から 200、下が 120 ぐらい常時あったのですが、上が 114、下が 64 にまで下がりました。

皆さんも糖尿病になりましたら、油断せずに、常に心がけて、運動と食事療法をするしかないと思います。私は、インスリンを 1 日 3 回注射しておりますが、食事療法のおかげで、インスリンの量が 3 分の 1 から 4 分の 1 に減りました。

「闘病」と言いますが、決して病氣と闘ってはいけないと思います。医者に言わせると一生治ることはないということですので、糖尿病と友達になり、長い目でゆっくりと付き合いながら、少しずつ食事療法なりいろいろなことをして行くと良いと思います。

私も、再来年は 70 歳になります。来年 3 月 3 日で出席免除になりますが、出席免除になったからといって、ロータリーへ出なくていいということではないと思います。出席免除になっても、必ずや 100% 出席を狙っていきます。それが私の健康の証ではないかと思います。